

看護政策論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授		
担当講座・学科(分野)	看護学部、共通基盤看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

看護制度と看護サービスの関連について学び、看護政策の基本的な考え方を学修する。そして、制度が創られてきた政策過程を学ぶことにより政策的思考を身に付ける。具体的には、これまでの看護学実習等を通して認識した看護サービスの課題を明確にし、その課題と関連する制度の理解を深め、そして制度を変革する過程で必要となる政治、行政および団体などの社会の力動関係を学修する。そして課題解決策について、社会的制約や妥協点を考え、実現可能な提言をまとめることにより、制度を変革するための基本的な考え方を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

国民のニーズに応じた質の高い看護を提供する観点から、看護職が政策過程に関わる意義について理解できる。また、国や自治体における保健医療福祉施策の現状と課題を俯瞰することで、看護職が政策過程に関わる実際について説明できる。さらに、看護学実習等を通して認識した看護サービスの課題について制度と関連づけて説明することができる。そして、看護サービスの課題を解決するプロセスを踏まえた政策提案を考えることを通して、新たな課題に対応する能力を獲得することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：ディプロマ・ポリシー：3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 国民のニーズに応じた社会の動向や特性を説明できる。
2. 看護職が政策過程に関わる意義について列挙することができる。
3. 行政機関における政策過程の実際と看護職の関わりについて説明できる。
4. 看護サービスの課題解決に向けた対応方法を自らの力だけでなく他者と協力して見出すことができる。

・ 授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/27 (木) 1限	看護学部 秋山 智弥 非常勤講師	我が国における看護政策および政策過程 ・ 政策に影響を与える諸団体の活動について説明できる ・ 看護職者が政策過程に関わる意義について述べる事ができる 【事前学修】 日本看護連盟のHPにある「日本看護連盟ハンドブック」を読み、 事業と実績、政策実現のための活動について学修する(60分) 【事後学修】 日本における看護政策および政策過程についてまとめる(60分)
4/27 (木) 2限	看護学部 秋山 智弥 非常勤講師	看護サービスの課題と制度 ・ 身近な看護サービスの課題について制度を関連づけることができる 【事前学修】 日本看護協会が掲げている「重点政策・事業」について学修する (60分) 【事後学修】 実習等を通して感じた看護サービスの課題をまとめ提出する：課題 レポート①(60分以上)
6/5 (月) 1限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	都道府県における政策 ・ 都道府県における看護職に関わる政策過程について説明できる 【事前学修】 岩手県の医療制度や看護師確保対策に関する取り組みについて学修 する(60分) 【事後学修】 都道府県における看護職に関わる政策過程についてまとめる(60分)
6/9 (金) 1限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	看護職が参画する政策の実際 ・ 岩手県の看護師確保対策に関する医療現場での具体的な取り組み について説明できる 【事前学修】 岩手県の医療制度や看護師確保対策に関する取り組みについて学修 する(60分) 【事後学修】 看護師確保対策に関する医療現場での具体的な取り組みについてま とめる(60分)

6/27 (火) 1限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	看護サービスにおける課題解決と提案：グループワーク ・課題を解決するためのプロセスを踏まえた提案を考えることができる 【事前学修】 実習を通して感じた看護サービスの課題をまとめる(60分) 【事後学修】 グループワークの内容を振り返り気づいたことをまとめる(60分)
6/27 (火) 2限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	看護サービスにおける課題解決と提案：グループワーク ・課題を解決するためのプロセスを踏まえた提案を考えることができる 【事前学修】 実習を通して感じた看護サービスの課題をまとめる(60分) 【事後学修】 グループワークの内容を振り返り気づいたことをまとめる(60分)
6/28 (水) 1限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	看護サービスにおける課題解決と提案：プレゼンテーション ・課題を解決するためのプロセスをふまえた提案を他者に伝えることができる 【事前学修】 討議した内容について他者に説明できるよう準備する(60分) 【事後学修】 これまでの学修成果を記述した上で、看護政策に関する課題レポートを作成する：課題レポート②(60分以上)
6/28 (水) 2限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	看護サービスにおける課題解決と提案：プレゼンテーション ・課題を解決するためのプロセスをふまえた提案を他者に伝えることができる 【事前学修】 討議した内容について他者に説明できるよう準備する(60分) 【事後学修】 これまでの学修成果を記述した上で、看護政策に関する課題レポートを作成する：課題レポート②(60分以上)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	看護職者のための政策過程入門（第2版）	見藤隆子ほか	日本看護協会出版会	2017
参	私たちの拠りどころ保健師助産師看護師法	田村やよひ	日本看護協会出版会	2008
参	看護制度と政策	野村陽子	法政大学出版会	2015

・ 成績評価方法

課題レポート①20%、課題レポート②50%、グループワークの取り組み状況 30% 計 100%により評価する。なお、グループワークの取り組み状況は、参加状況、政策提案の内容、プレゼンテーションにより評価する（第4回の講義時に説明する）。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている事前事後学修内容を確認し、配布資料および参考書を読み、授業に臨むこと。授業は集中講義としていることから、講義開始前に該当する事前学修は終了すること。事前事後学修に要する時間は平均 60 分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業後のリアクションペーパーを活用することで、次回の授業前にフィードバックをする。フィードバックの方法として、質問や疑問については WebClass に解説を掲載する。授業中に課す課題レポートの提出は、WebClass を活用し、採点後にコメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：統合分野 看護の統合と実践
保健師（別表1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影